

一般流通木材を利用した建築物

～木造建築をもっと造るために～

県有建築物の脱炭素社会に向けた取組

- ① 建築物における省エネ対策の強化
- ② 再生可能エネルギーの導入拡大
- ③ 吸収源対策（木材の利用拡大）

省エネ

創エネ

木造・木質化

交通基盤部建築管理局

磐田学園機能訓練棟



令和5年2月完成

構造：RC造+木造 平屋建て

延床面積：469.97㎡

高さ：9.15m

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

木を組み立てて梁をつくる



工事件名	静岡県庁(県33-21162-01期) 静岡県庁第1庁舎の機能訓練棟新築工事(建築)
建物棟	機能訓練棟
工種	木構造工事
業種	

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA



柱のない大空間を実現



工事件名	静岡県庁庁舎22-23階増築工事
建物棟	機能訓練棟
工種	木構造工事
箇所	屋根

屋根トラス
建方状況

内部は構造材を見せ 内装にも木をふんだんに使用

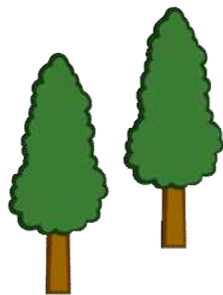


外からガラス越しに木が見える工夫

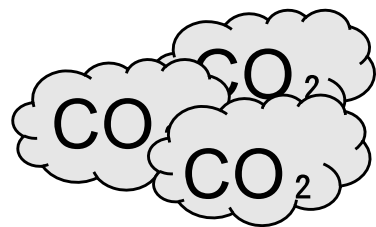
木材使用による脱炭素化の効果

木材使用量（天竜産材）

- ・杉 90.5m³
 - ・ヒノキ 4.3m³
- (木造住宅4棟分に相当)



CO₂貯蔵量
57トン



県有建築物の脱炭素化に積極的に取り組みます！